川崎市高専設立準備担当職務・専門実績書

令和　　年　　月　　日現在

1　応募者及び応募区分

氏名		**応募区分**	☐ A 教務統括 ☐ B 数理・情報基盤 ☐ C ハードウェア実装 ☐ D 先端技術・産学連携
現所属		**現職**	
学位・資格		**実務経験年数**	通算　　年
専門分野		**専門キーワード**	5 項目以内

2　専門性及び職務経験の概要、成果及び本人の役割（400 字以内）

※ 専門分野の名称だけでなく、大学、研究機関、企業、行政、団体等において、どのような教育・研修企画、研究、技術開発、事業開発、学校・組織運営、産学連携、地域連携又は人材育成に活用してきたかが分かるよう記載してください。

【記載欄】

3　主要な職務・専門実績（3 件以内）

※ 研究・教育実績に限らず、企業、行政、団体等における技術開発、教育・研修企画、産学連携、事業開発、プロジェクト運営、地域連携、人材育成等を含め、応募者本人が判断し、企画・設計し、調整し、実施した内容を具体的に記載してください。
※ 守秘義務等により名称又は数値を記載できない場合は、支障のない範囲で、事業分野、規模、本人の役割及び成果が分かるよう記載してください。

【実績 1】

実績の名称	
実施期間	年　月から　　年　月まで
所属・役割	
背景・課題	
取組内容	
関係者・連携先	
本人の具体的役割	
成果及び本市高専への活用	

【実績 2】

実績の名称	
実施期間	年　月から　　年　月まで
所属・役割	
背景・課題	
取組内容	
関係者・連携先	
本人の具体的役割	
成果及び本市高専への活用	

【実績 3】

実績の名称	
実施期間	年　月から　　年　月まで
所属・役割	
背景・課題	
取組内容	
関係者・連携先	
本人の具体的役割	
成果及び本市高専への活用	

4　経験領域確認表

※ 該当する欄にチェックを付け、主要な職務・専門実績との対応がある場合は実績番号を記載してください。

経験領域	有	無	実績番号・補足
15 歳からの年代を対象とした教育・学生指導	□	□	
教育課程、研修又は人材育成プログラムの企画・設計・改編	□	□	
PBL、実験・実習、インターンシップ又は~~卒~~教育事業の企画・運営	□	□	
教育・研修、教材・コンテンツ又は人材育成手法の開発	□	□	
AI、ソフトウェア、電子回路、制御、組込み等のシステム設計・実装	□	□	
複数分野・組織を横断する教育、研究又は事業プロジェクト	□	□	
企業、大学、研究機関、行政、団体等との連携事業	□	□	
産学連携、共同研究、事業開発、地域連携又は社会実装	□	□	
学校・組織運営、教務、人材育成又は人材マネジメント	□	□	
制度、事業計画、申請書、提案書又は会議資料の作成	□	□	
多様な関係者との調整・合意形成	□	□	
新規事業、新組織、新制度又は連携基盤の立ち上げ	□	□	

5　応募区分別記述（800 字以内）

応募区分に応じ、次の設問について記載してください。

A 区分	育成人材像又は人材育成方針を、教育課程、~~教務~~研修・育成プログラム、組織・運営体制、指導・支援制度等へ具体化した経験について、関係者との調整方法を含めて記載してください。大学・高専等における教育・学校運営に限らず、企業、行政、団体等における人材育成、研修体系、組織開発、新規事業・プロジェクトの推進等の経験も含みます。
B 区分	15 歳からの 5 年間を通じて、数理・情報・AI を共通基盤として段階的に学ばせる教育課程を設計するとした場合、御自身の経験をどのように活用できるか記載してください。
C 区分	AI、情報技術、電子回路、制御、組込みシステムその他の技術を用い、ソフトウェアとハードウェアを組み合わせて、課題発見からシステム設計、試作、実験・検証、改善及び社会実装までに取り組んだ実績を記載してください。
D 区分	企業、大学、研究機関、行政、地域団体等と連携し、教育・研修プログラム、PBL、インターンシップ、共同研究、人材育成、事業開発、地域連携又は社会実装等を企画・運営した実績を記載してください。あわせて、連携先の開拓、関係者間の調整、予算・進行管理、成果の評価及び継続的な関係構築において、本人が果たした役割を具体的に記載してください。

【記載欄】

6　専門実績等一覧

※年月の新しいものから順に並べて記入してください。
※査読付き論文は、DOI その他の恒久的な識別情報を記載してください。DOI がない場合は、掲載を客観的に確認できる URL 等を記載してください。
※共著の場合は、筆頭著者、責任著者、研究代表者、実験担当等、本人の役割を「概要」欄に記載してください。
※企業、行政、団体等における教育・研修企画、産学連携、事業開発、地域連携、人材育成等の実績も記載できます。論文以外の実績は、事業名、実施主体、本人の役割、成果及び公開資料等を可能な範囲で記載してください。守秘義務等がある場合は、開示可能な範囲で記載してください。
※各欄は、次の要領で記載してください。
・「実績、取組、成果物等の名称」
　事業、プロジェクト、研究、教育・研修プログラム、製品・サービス、論文、特許等の名称
・「本人の立場・役割／審査・評価等」
　責任者、リーダー、主担当、共同担当等の立場と、査読、特許登録、外部評価、認証等
・「実施・連携・公表先等」
　実施した組織、連携した企業・大学・自治体等又は成果の公表先
・「概要、成果及び本人の役割」
　取組の目的・内容、対象者・規模、得られた成果及び本人が担当した企画・調整・実施内容
※論文等がない場合も、教育企画、研修、人材育成、産学連携、事業開発、地域連携、組織・プロジェクト運営等の実績を記載できます。
※コンテストの受賞歴や作品の表彰などは「その他特記事項」の欄に記載してください。

No.	実績、取組、成果物等の名称	本人の立場・役割／審査・評価等	実施・発表年月	実施・連携・公表先等	概要、成果及び本人の役割
記載例	企業・大学連携型デジタル人材育成プログラムの企画・運営	事業責任者／外部評価 A	令和 4 年 4 月～令和 7 年 3 月	自社、大学 5 校、企業 18 社、自治体 2 市	企業課題型 PBL、インターンシップ及び成果発表会を企画。3 年間で学生 240 人、企業技術者 65 人が参加。本人は事業設計、大学・企業との協定調整、予算・進行管理、講師調整及び効果測定を統括。修了者の 82%が関連分野へ就職した。
記載例	Edge-AI-Based Predictive Maintenance for Industrial Rotating Machinery／DOI: 10.1234/example.2025.001	責任著者・研究代表者／査読有	令和 7 年 8 月	Journal of Industrial Cyber-Physical Systems, Vol.12, No.3	振動・電流・温度データを統合し、産業用回転機器の異常兆候を現場端末で検知する手法を提案。実証設備において主要故障モードの検知率 94%、誤報率 3%を達成した。本人は研究計画、システム設計、実験計画、企業との実証調整及び論文全体の取りまとめを担当。
1					
2					
3					
4					

No.	実績、取組、成果物等の名称	本人の立場・役割／審査・評価等	実施・発表年月	実施・連携・公表先等	概要、成果及び本人の役割
5					
6					
7					
8					
9					
10					

その他特記事項

7　応募理由等

(1)応募理由	
(2)川崎市の高専設立に最も貢献できる分野	
(3)教育理念	

8　照会可能な関係者（任意）

※ 応募者の職務・専門実績について照会可能な方がいる場合に記載してください。選考過程で照会を行う場合は、事前に応募者へ連絡します。

氏名・所属		**連絡先・関係**	
氏名・所属		**連絡先・関係**	
氏名・所属		**連絡先・関係**	

9　申告

本書に記載した内容は、私の職務・専門実績に基づくものであり、事実と相違ありません。

申告日	令和　　年　　月　　日	**確認欄**	
氏名	（自署）	**確認欄**	

記載上の注意

※ 本書は、履歴書等に記載した経歴のうち、応募区分に関連する専門性及び実績を確認するためのものです。大学・研究機関等における教育・研究実績のほか、企業、行政、団体等における技術開発、教育・研修企画、産学連携、事業開発、プロジェクト運営、地域連携、人材育成等の実績を含みます。

※ 各欄は、指定された文字数及び件数の範囲内で記載してください。必要に応じて行の高さを調整できますが、項目の追加、削除又は順序の変更は行わないでください。

※ 学位記、資格証明書、在職証明書、論文、特許公報、製品・システムの公開資料、教材、研修資料、事業報告書、プロジェクト概要書、受賞・認証資料等は、募集要項で指定する場合又は本市から求めた場合に提出してください。守秘義務等により原資料を提出できない場合は、開示可能な範囲で作成した実績概要書を提出してください。

※ 勤務先等の守秘義務、著作権、個人情報その他の権利を侵害しない範囲で記載してください。

※ 虚偽の記載が判明した場合は、採用選考の対象外又は合格の取消しとなる場合があります。